

世界の人々とともに生きる

自分の主張や意見をつくる時の評価基準

S

世界の課題の解決に向けた取り組みについて整理することができていて、整理したことを関係付けて、世界の課題の解決に、日本人々はどのように取り組めばよいかについての考えを書けている。

A

世界の課題の解決に向けた取り組みについて整理することができていて、世界の課題の解決に、日本人々はどのように取り組めばよいかについての考えを書けている。

B

世界の課題の解決に向けた取り組みについて整理することができているが、世界の課題の解決に、日本人々はどのように取り組めばよいかについての考えを書けていない。

C

世界の課題の解決に向けた取り組みについて整理することができていない。

具体的な記述の例

「分類と気付き」

市役所・お店・個人のそれぞれの立場で何かできることを考えたり、SDGsの取り組みをおこなったりしている。

「自分の考え」

三者の立場でできることを整理したら、SDGsを意識した自分たちの行動1つ1つが世界の課題を解決することにつながると考えられた。

三者の立場で生活や取り組みを見つめ直し、できることを考え、行動していくようにするべきだと思う。

※いろいろな立場でSDGsに向けた行動をとっていると整理・分析しているので、それを反映して、皆がそれぞれの立場で何かをする、ということが書けている

「分類と気付き」

市役所・お店・個人のそれぞれでSDGsの取り組みをおこなっている。

「自分の考え」

自分の行動1つ1つが世界の課題を解決すると考えて、SDGsを意識するべきだと思う。

「分類と気付き」

たくさんのSDGsの取り組みがある。

「自分の考え」

SDGsは大切だと思った。
※説明が不十分

「分類と気付き」

分類できていない（書けていない）

「自分の考え」

わからない（書けていない）